

総合的な学習の時間学習指導案

指導者 北村 沙耶花

- 1 日時 令和5年 11月 10日(金) 第5校時
- 2 場所 5年生教室
- 3 学年 第5学年 男子11名 女子9名 計20名
- 4 単元名 「誕生, 神石 food！」
- 5 単元について

○児童観

本学級の児童は、3年生の時にこんにゃく、4年生の時に夏野菜と冬野菜を育てるなど総合的な学習の時間において、「神石高原町の特産物のこんにゃく」について調べる学習や「神石高原町の気候を生かした野菜」について調べる学習に取り組んできた。そのときの経験から、神石で作られたものあるいは自分たちで作ったものを「商品化する」ことに関心がある。

1学期に「商品化」について調べていくうちに、自分たちで育てて調理したものは売ることができないということに気づき、神石で作られているハチミツを使って何かできないかと考えを膨らませている。

本学級の児童に、総合的な学習についてのアンケートを行ったところ、結果は次の通りとなった。

(肯定的評価/20人中)

課題 発見力	1	身の回りのものやできごとから自分が調べてみたいことをみつめています。	18	
	2	地域の方や問題解決に向けて取り組んでいる人々が困っていること(問題)を知り、それらを解決するための方法を考えられています。	15	
	3	友達や、地域の人がもっている悩みを解決したり、願いをかなえてあげたりしたいと思います。	17	
課題 解決力	4	解決しようとする課題について何をすればよいのか、何が使えるかを考えることができます。	19	
	5	課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。	15	
	6	課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。	19	
	7	たくさんの資料から、必要な情報を集めることができます。	16	
	8	集めた情報から、適切なものを選んで、調べたことをまとめることができます。	16	
	9	調べてわかったことを、効果的な方法(図、グラフ、表など)を考えてまとめています。	15	
	10	情報を比べたり(比較)、仲間分けしたり(分類)、関係を見付けたり(関係付け)して何が分かるのかを考えています。	17	
	11	友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	17	
	12	発表する相手を意識して、自分の考えとその理由を明らかにして、分かりやすく伝わるように発表を工夫しています。	19	
	13	自分の考えを積極的に伝えていきます。	18	
	14	友達と話し合う時、お互いが納得のいく考えをつくらうとしています。	20	
	振 り 返 り 力	15	学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか。」「学習方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	17
		16	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	18

1 7	自分の住んでいる地域のことが好きです。	20
--------	---------------------	----

アンケートの結果から、概ね肯定的な評価をする児童が多かった。しかし、その中でも、いくつかの項目が全体に比べて割合が低い傾向にあった。

課題発見力に関わっては、「地域の方や問題解決に向けて取り組んでいる人々が困っていること（問題）を知り、それらを解決するための方法を考えています。」の項目である。これまでの学習では、自分達がハチミツについて調べたいと思ったことを学習してきており、「ハチミツが販売されるまでにどのような苦労や工夫がされているのか」を学習する機会が少なかったためと考えられる。

課題解決力に関わっては、「課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。」「調べてわかったことを、効果的な方法（図、グラフ、表など）を考えてまとめています。」の項目である。アンケート実施前の学習では、神石のハチミツについて主に調べており、児童がやりたいと思っている料理についての情報収集や表現はまだ行っていなかったため、肯定的な評価が低い傾向になったと考えられる。

振り返り力に関わっては、「学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。」の項目において肯定的な評価をする児童が多かった。振り返りの際にどのような視点で書くとよいのかを提示することで、自分で課題を発見したり、次の学習につながることを考えたりすることができるようになってきたからだと考えられる。

○単元観

本単元では、自分たちが住む神石高原町の特産物であるハチミツについて調べたり、調理を行ったりすることを通して、特産物に親しみをもち、そのよさを伝えるためにはどうすればよいのかを考え、実行していく。地域の方から学んだり、自己を振り返ったりしながら課題解決学習に取り組む姿が期待できる。

○指導観

指導に当たっては、課題発見力・課題解決力・振り返り力をつけるために以下の工夫を取り入れる。

課題発見力	<p>授業の導入では、児童の振り返りの記述や、授業内外でのやりとりをもとに課題へとつなげていくことで、児童が自分達で課題をつくっていくという意識を育てる。また、立ち止まりポイントを児童自身に気付かせることで、課題発見力を高めていく。</p> <p>実際に神石のハチミツを使って調理を行うことを通して、ハチミツに親しみをもち、このハチミツを使って多くの人に神石を知ってもらうためにはどうしたらよいのかを考えるきっかけをつくる。</p>
課題解決力	<p>ハチミツについて詳しく知るためにハチミツ研究所の方に協力を仰いだり、教室にハチミツについての本を掲示したりするなどハチミツについて学ぶ環境を整えておく。</p> <p>単元を進める中で、神石のハチミツをより多くの人に知ってもらうために必要な活動について話し合い、実践する。必要な情報をどのように集めるのか、おいしさを伝えるためにはどうしたらよいのか、神石のハチミツを手にとってもらうためにはどのような工夫をしていくべきなのか等の立ち止まりポイントを設定し、活動に関わってしなければならないことを児童が進んで考え、行えるようにする。</p> <p>自分の意見をグループや全体で発表する場を多く設けることで、友達の見解を取り入れながらよりよい課題解決に向けた活動ができるようにする。</p> <p>調べてわかったことを、パワーポイントに図やグラフ、表などを用いてまと</p>

	める方法を全体で確認することで、効果的に情報収集ができるようにする。 課題解決の経験を積むなかで、自分の役割をもって活動したり、みんなで協力する活動を行ったりして、学級としての課題解決力も高めていく。
振り返り力	振り返りは小单元ごととし、「分かったこと」「学んだこと」「もっとこうしたらよいと思うこと」という視点を与え、自分の学習状況や今後の学習を見通した振り返りとなるようにする。

○単元の目標

神石高原町の特産物であるハチミツについて調べたり、実際に調理を行ったりすることを通して、神石の特産物に親しみをもち、もっと多くの人に神石のハチミツを知ってもらうための方法を考えることができるようにする。

6 評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		課題発見力・課題解決力	振り返り力
単元の評価規準	①神石で作られているハチミツはどのような過程で販売されているのか、地域の方のどのような思いが込められているのか理解することができている。 ②もっと多くの人に知ってもらうために必要なことを様々な方法で実践することができている。 ③地域の特産物であるハチミツがどのような思いや環境で作られているかを理解し、もっと多くの人に知ってもらいたいという思いをもつことは、課題に対して様々な方法で探究的に学習していることの成果であることに気付いている。	①地域の特産物であるハチミツへの関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもつことができている。 ②課題解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集したり、種類に合わせて蓄積したりしている。 ③調べたり、実践したりして得た情報を目的に応じて分類し、整理することができている。 ④相手や目的に応じて、効果的に表現することができている。	①課題解決に向けた自己の取組を振り返ることを通して、自分の意思で探究的な活動に取り組もうとしている。 ②自分と友達の意見の違いを比べ、必要に応じて取り入れることで、よりよい解決策を導こうとしている。 ③地域を盛り上げていくために、自分たちには何ができるのかを考え、実践していくことで、地域に対しての思いを一層強くもつことができている。

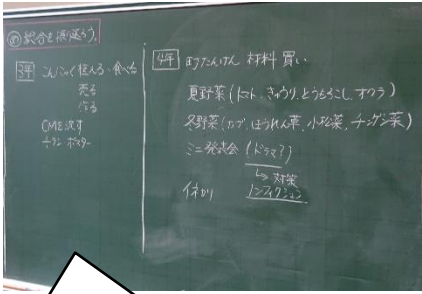


7 単元におけるルーブリック（思考力・判断力・表現力等）

	A	B	C
項目	調べたり、実践したりして得た情報を目的に応じて分類し、友達と考えを深めながら整理することができている。	調べたり、実践したりして得た情報を目的に応じて分類し、整理することができている。	調べたり、実践したりして得た情報を目的に応じて分類し、整理することができていない。

8 学習過程ごとの主な学習活動（全70時間）

★＝立ち止まりポイント

（本当にこれでいいのか、壁にぶつかったときどうすればよいか考える場面）

時数	学習過程ごとの主な学習活動
5	<p>【5月】</p> <p>○単元の課題設定をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの総合を振り返る（3年生ではこんにやく作り、4年生では野菜作りを行った）。 →作ったものを商品化したいという思いをもつ。 ・総合的な学習の時間を学習する意義（どんな力が身に付くとよいか）を考える。  <div data-bbox="973 851 1428 1030" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>総合の授業でどんな力が身に付くとよいかをクラス全体で話し合った。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの経験を振り返りながら、本単元のテーマや活動内容を考える。 ・神石に関わるものを作るための調べ方を考える。 <p>年間テーマ</p> <div data-bbox="300 1198 1241 1249" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>誕生！神石 Food！</p> </div>
3 4	<p>【6月】</p> <p>課題：野菜を育てるにはどうすればよいだろう。</p> <p>○野菜を育てるにはどうすればよいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の時期に育てることができる野菜や果物について調べる。 ・4つのグループ（きゅうり・ピーマン・かぼちゃ・なす）に分かれて野菜調べを行う。 ・植える時期や植え方について調べる。  <div data-bbox="973 1590 1428 1792" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>野菜を育てるための方法や必要な材料についてグループの中で役割分担をして調べ学習を行った。</p> </div> <p>○育てる野菜の苗を植える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑を耕す。 ・苗を植える。  <div data-bbox="973 1814 1428 2038" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>野菜をどの位置に植えるのかを話し合いながら、畑を耕している様子が見られた。見通しをもって行動することができるようになっている。</p> </div>

★4年生の頃に野菜を育てて害虫・カラスに荒らされたことを思い出す。

3

○害虫・カラス対策するには何が必要なのかを調べる。

- ・3, 4年生の時の経験を生かして害虫・カラス対策を行う。
- ・学校にあるもので害虫・カラス対策ができないか考える。
- ・ビニールテープを害虫対策ネットに代用して作る。



用意したネットだけでは足りないことに気付いたが、新たに購入するのではなく、学校にあるもので対策ができないかを見童間で話し合うことができた。

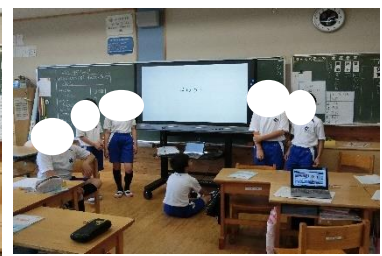


課題：育てた野菜を商品化するためにはどうすればよいだろう。

6

○グループごとに育てた野菜をどのように商品化するか調べる。

- ・インターネットを利用して、それぞれの野菜を使った料理について調べる。
きゅうりグループ→ツナときゅうりのサラダ
ピーマングループ→ピーマンの肉詰め
かぼちゃグループ→かぼちゃの天ぷら
なすグループ→なすとミートソースの炒め物



自分たちが育てる野菜を使ってどんな料理を作るのか、どのような工夫をするのかをグループごとにパワーポイントにまとめて、全体で発表することで、他者に伝える力を少しずつ身に付けることができるようになってきた。

★商品化するためには工夫が必要であることに気付く。

- ・調べた内容をパワーポイントにまとめて、全体で発表を行う。
きゅうりグループ→きゅうりの形を星型やクローバー型にする。
ピーマングループ→冷凍食品化する。
かぼちゃグループ→隠し味にハチミツを入れる。
なすグループ→パッケージを工夫する。

- ・商品化するために必要な材料について校長先生にプレゼンテーションを行う。

★野菜を育て、商品化することで神石がどのようなになってほしいのかを考えていなかったことに気付く。




→この活動の原点にもどる。

- ・神石のハチミツを使って人々を笑顔にしたい、その良さをもっと広めたいという思いをもつ。

1

- 商品化について知る。
- ★自分たちが育てて、調理した商品は売ることができないことを知る。
- 立ち止まりポイントを踏まえて今後の活動内容の見通しを立てる。

自分たちが作った料理は売ることができないことに気付いた。問題にぶつかったときに、そこで諦めるのではなく、他の方法はないかと考えることができるようになってきた。



【7月】

課題： ハチミツはどうやってできるのだろうか。

2

- かぼちゃグループの「隠し味にハチミツを入れる」という意見に注目し、神石のハチミツについて調べる。
- ・本やタブレットを用いてハチミツについての調べ学習を行う。

1

- ミツバチ研究所の方にミツバチの種類や働き、ハチミツができるまでの過程について教えてもらう。
- ・ミツバチ研究所の方にミツバチ・ハチミツについて教えてもらう。



◇児童の疑問

- ミツバチはどうやって生まれるのか。
- ハチミツの保存方法
- ミツバチは一度にどのくらい卵を産むのか。
- ミツバチの種類 等

・実際に神石のハチミツを試食し、新たな疑問が生まれる。

◇児童の疑問

- いつも食べているハチミツよりもコクがあるのはなぜ？
- このおいしさをもっと多くの人に知ってもらいたい！

ハチミツ研究所の方にハチミツについての講話をしていただき、授業の最後には日本ハチミツを試食させていただいた。普段食べているハチミツ（スーパーなどに売っているハチミツ）との違いに気付き、なぜこんなにもコクがあるのか、味が違うのかなど様々な疑問が出てきた。

2

- 今後の活動について話し合う。
- ・ハチミツを使って何をするのか考える。

例 調理をしたい。

2班

ハチミツ	ハチミツモチ	パンケーキ	できたらケーキ
あー食べたーい	クッキー作り	アイスクリーム	ハチミツゼリー
	プリン	ホットケーキ	ハチミツチーズケーキ
カップケーキ	ワッフル	ロールケーキ	パン
蒸しパン	ドーナツ	チーズケーキ	ヨーグルト

多くの人にハチミツを知ってもらうために
 宣伝方法を考えたい。
 給食メニュー（デザート）を考えたい。
 ハチミツレシピを作りたい。

【8月】

課題：ハチミツを使うとどのような料理ができるのだろう。

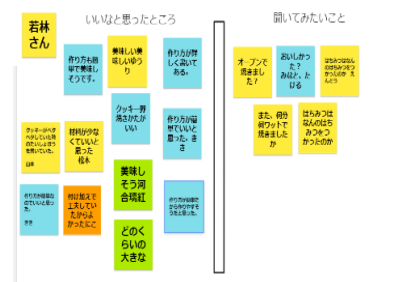
4

- ハチミツを使って何を作りたいか考える。
 - ・ジャムボードを活用してグループごとにどのようなハチミツ料理を作りたいか考える。
 - ・家でハチミツ料理のレシピを調べ、実際に作ってみる。（夏休みの宿題）

【9月】

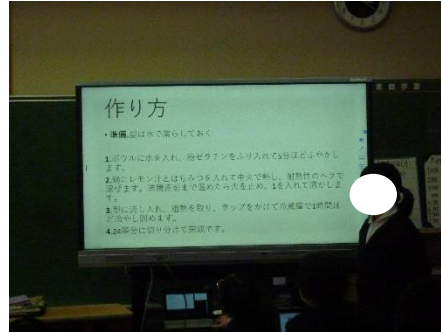
8

- どのようなハチミツ料理があるのか全体で交流する。
 - ・自分が夏休みに作ってきたハチミツ料理の材料や作り方おすすめポイントを発表する。
 - ・友達の発表を聞いて「いいなと思ったところ」「聞いてみたいこと」をジャムボードにまとめる。
- ★どのメニューが商品化できるかは発表を聞くだけでは判断できないことに気づき、実際に自分たちで調理・試食する必要があると考える。



【10月】

- 2 ○調理する料理をクラスで話し合っで決める。
 ・条件を設定して、4つ作るものを決める。
- 3 ○グループごとにハチミツ料理の材料や作り方を調べ、ハチミツクッキングに向けた準備を行う。
 ・材料が少なくても、簡単に作る事ができるのかをグループで再度確認し合う。
 ・20人分の材料の計算をして、材料がどのくらい必要なかを確認する。
 ・グループごとにパワーポイントを用いて、レシピと必要な材料を発表する。
 (ハチミツクッキー・ハチミツジュース・ハチミツグミ・ハチミツあめ)



【11月】

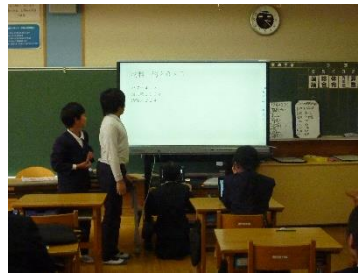
課題：神石のハチミツのよさを伝えるためにはどのような料理をすればよいのだろう。

- 4 ○ハチミツ料理を作る。
 ・様々なハチミツ料理を作ってみる。
 ・作るためにはどのような材料がどれだけいるのかをグループごとに確認する。
 ・ハチミツクッキングをする。



ちょっと薄力粉入れすぎたかも...

- 2 ○自分達の活動を評価し合う。
 ・ハチミツクッキングをした評価を書き、改善点を見つける。(本時)
- ハチミツ料理をよりおいしく作るための改善策を考える。
 ・失敗したハチミツグミの改善策を考える。
 ・ハチミツクッキーをよりおいしく作るための工夫を考える。



★自分たちだけの評価では、ハチミツ料理の改善案を考えることが難しいことに気づき、自分たち以外の人に食べてもらう必要があると考える。

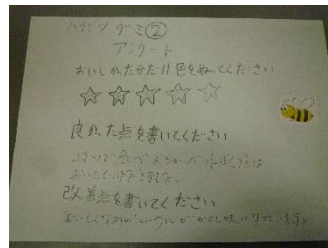
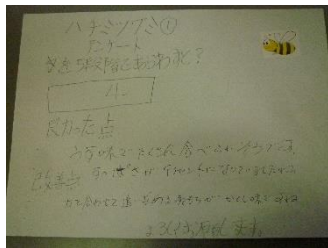
【12月】

課題： よりよいハチミツ料理を作るためにはどうすればよいのだろう。

- 2 ○ミツバチ研究所の方に試食をしていただいて、評価をしてもらう。
 ・11月の反省点を生かしてもう一度ハチミツクッキングを行う。



- 2 ・ミツバチ研究所の方に試食をしてもらう。
 ・試食をした感想を書いてもらう。



前回、失敗してしまったからその反省を生かして今度は、ハチミツを多めに入れてみようかな。

- 2 ○感想の集計をする。
 ○感想を聞いて、改善点を見つける。
 ・もっとおいしいハチミツ料理を作るには何が必要なのかを考える。

【1月】

課題： 神石のハチミツのよさを伝えるにはどうすればよいだろう。

- 2 ○神石のハチミツのよさを伝える方法を考える。
 例 レシピを182ステーションに置いてもらう。
 YouTubeにレシピ動画をアップする。
 保護者や地域の方に食べてもらう。
 ハチミツの瓶にレシピのQRコードを載せてもらう。
 ハチミツのチラシやポスターを作成する。

- 1 ○より効果的な方法を選ぶ。

【2月】

- 9 ○182ステーションに置いてもらうポスターをグループごとに作成する。
 ○どうしたら神石のハチミツの良さを伝えることができるのか。
 ・どのような構成で書くのか。
 ・どんなレシピを載せるのか。
 ・どんなイラストを描くのか。



どんなポスターだとお客さんに見てもらえるのかな。

2	<p>【3月】</p> <p>○これまでの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身に付いた力や成長したこと，これからの学習や生活に生かしたいことを振り返る。

9 本時の学習

(1) 本時の目標

調べたり，実践したりして得た情報を目的に応じて分類し，整理することができる。

(2) 本時の評価規準

調べたり，実践したりして得た情報を目的に応じて分類し，整理することができる。

(3) 準備物

〔指導者〕 電子黒板〔児童〕 タブレット，総合ノート

(4) 学習の展開 (46 / 70時間)

	学習活動 ○指導者 ・予想される児童の発言	・指導上の留意事項 ○評価規準および判断基準 (方法)
1	<p>前時の振り返りを行い，本時の活動を確認する。(5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>神石のハチミツのよさを伝えるにはどのような料理を作ればよいだろう。</p> </div>	<p>・クッキングの様子やクッキングのアドバイスを提示し，これまでの学習を振り返る。</p>

<p>2 他のグループから出た意見を分類する。 (25分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見た目、味、作りやすさなどいくつかの項目に分けて分類する。 見た目…他の形も作ってみるとよい。 味…ハチミツの量を増やしてみるとよいのではないか。 作りやすさ…材料が少なくても作れるようにするとよい。 <p>3 分類した意見を基に改善点を考える。 (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の形も作ってみる。 ・ハチミツの量を増やしてみる。 ・神石のハチミツだからこそ美味しくなる料理を作ればよいのではないか。 ・もっとハチミツのよさが出る料理を作りたい。 <p>4 振り返りをする。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちだけの評価では、ハチミツ料理の改善案を考えることができないと思った。 ・自分たち以外の人に食べてもらって評価してもらいたい。 ・他の人の意見を聞くことで違う視点で考えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の流れを確認することで見通しをもって活動に取り組むことができるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ間の交流を入れることで、他の児童との評価の違いに気づき、新たな視点で考えることができるようにする。 ・自分たちのグループだけでなく、他のグループのハチミツ料理について考えることで、クラス全体で課題解決に向けた取り組みを行うことを意識できるようにする。 ・神石のハチミツのよさが伝わる料理になっているか立ち止まって考えることができるようにする。 <p>○調べたり、実践したりして得た情報を目的に応じて分類し、整理することができている。 (発言・行動観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの視点を提示することで、自分自身の活動の振り返りや次の活動に向けての見通しがもてるようにする。
--	---